1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入) 平成 26 年度

事業所番号	2774501155				
法人名	もみの木有限会社				
事業所名	もみの木のいえ				
所在地	泉佐野市羽倉崎三丁目8番5号				
自己評価作成日	平成 26年 11月 16日 評価結果市町村受理日 平成 27年 1月 15日				

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaigokensaku.ip/271/index.php?action.kouhyou.detail.2014.022.kani=true&JigyosyoCd=2774501155-00&PrefCd=278VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 軟な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター				
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内				
訪問調査日	平成 26年 12月 4日				

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が、どうすれば快適に過ごしていただけるかを考え、近隣の豊富な社会資源も活用しながら、その方らしい暮らしができるよう、日々支援させていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域福祉の充実をめざし、利用者の暮らしを支えて10年目を迎える「もみの木有限会社」が運営するグループホームです。「明るく楽しく元気よく」を理念とし、家庭的な雰囲気の中で自由にありのままの、安らぎのある生活を提供しています。日中は玄関を開錠し、利用者が自由に出入りできるようにしています。庭には愛犬が寝そべり、家庭菜園もあります。地域交流を大切にしており、保育園児との交流やボランティアの来訪もあります。祭りではだんじりがホーム前を通り、地域の祭りを楽しむことができます。利用者は手作りの食事を楽しみ、散歩や買物にも日常的に出かけています。また、アルコール等の嗜好品を味わうことができ、職員の提案で「居酒屋もみの木」も開かれています。24時間医療連携支援に取り組み、利用者・家族の希望に副って看取り支援をしています。職員は熱心で、町会の協力があり、行政との連携も良いことから、今後もさらにサービス向上が期待できるホームです。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	↓該:	取り組みの成果 当するものに〇印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の O 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	O 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安 なく過ごせている (参考項目:30,31)	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔	0 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3/51 が	-			

自己評価および外部評価結果

自	外部		自己評価	外音	『評価
	市	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理	念に	基づく運営			
		〇理念の共有と実践	新たな理念の作成を試みていました	「明るく 楽しく 元気よく」をホームの	
		地域密着型サービスの意義をふまえた	が、結果的に完成できずにいますが、	理念としています。理念は「もみの木の	
		事業所理念をつくり、管理者と職員は、	既存の理念の下、よりわかりやすく職	いえでの生活」として6項目に具体化し	
		その理念を共有して実践につなげてい	員と共有できる理念の完成を目指して	ています。6項目の一つに「外出した	
			いる。	り、買物等を通じて地域の方々と触れ	
				合う機会をつくることにより運動と心の	
1	1			活性をはかります」として、地域社会と	
				の交流を重視した支援方針を明確にし	
				ています。理念は玄関や職員詰所等	
				に掲示して、職員間で共有し、実践し	
				ています。理念は、さらに充実したもの	
				になるよう、現在職員間で検討してい	
				る状況です。	
		〇事業所と地域とのつきあい	地域のイベント(夏祭りやだんじり)な	地域の夏祭りや秋祭り、敬老会等に参	
		利用者が地域とつながりながら暮らし続	どに参加させていただいたり、もみの	加して交流を深めています。ホーム主	
		けられるよう、事業所自体が地域の一	木が主催のイベント(納涼祭や餅つき	催の納涼祭や、年末餅つき大会には	
		員として日常的に交流している	大会)に参加していただいたりと、交流	近隣住民にも参加してもらい、利用者	
			を続けさせていただいている。	との交流を進めています。近くの保育	
2	2			所から招待を受け、園児と夕涼み会を	
				楽しむ機会もあります。認知症サポー	
				ター養成講座の講師や、認知症の理	
				解を深めるために取り組まれている	
				「オレンジカフェ泉佐野」に職員を派遣	
				し、地域貢献にも力を入れています。	

自己	外部	- F	自己評価	外音	7評価
	마	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇事業所の力を活かした地域貢献	認知症サポーター養成講座の講師を		
		事業所は、実践を通じて積み上げてい	させていただいたり、オレンジカフェ泉		
3		る認知症の人の理解や支援の方法を地	佐野(認知症カフェ)にもお手伝いさせ		
"		域の人々に向けて活かしている	ていただいたりして、より多くの方々に		
			対し認知症についての理解を深めてい		
			く活動のお手伝いをさせていただく。		
		〇運営推進会議を活かした取り組み	ご家族様、地域の方々からの意見をい	運営推進会議は規程を定め、2ヵ月に	
		運営推進会議では、利用者やサービス	ただきながら、よりよいサービスの向	1回年6回の開催をしています。メンバ	
		の実際、評価への取り組み状況等につ	上に努めている。	一構成は、利用者・家族、町会役員、	
		いて報告や話し合いを行い、そこでの意		民生委員、地域ボランティア、市職員、	
		見をサービス向上に活かしている		ホーム職員等です。最近の会議では、	
4	3			ホーム行事や利用者の生活状況、看	
				取り支援等について、話し合っていま	
				す。利用者家族からも積極的な意見が	
				出され、出された提案や意見について	
				はホーム運営に活かしています。	
		〇市町村との連携	当事業所の空き状況の報告や、サー	市の担当者とは日頃から情報交換を	
		市町村担当者と日頃から連絡を密に取	ビスについての相談など、日頃から連	行い、利用者支援については、社会資	
		り、事業所の実情やケアサービスの取り	絡をとりながら、協力体制を整えてい	源の活用等も含めて、相談しながら進	
		組みを積極的に伝えながら、協力関係	る。	めています。また、市内の認知症サポ	
5	4	を築くように取り組んでいる		一ター養成講座、「オレンジカフェ泉佐	
				野」等、認知症についての理解を深め	
				る活動等に参画し、協力関係を築いて	
				います。	

自己	外部	で ロ	自己評価	外音	7 <mark>評価</mark>
	印	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇身体拘束をしないケアの実践	実際の身体拘束のケースを知識として	運営規程第15条に「身体拘束の制	
		代表者および全ての職員が「指定地域	職員に知ってもらい、会議や研修など	限」を明記し、緊急時を除いて身体拘	
		密着型サービス指定基準及び指定地域	を通じて職員間で話し合い学んでい	束は行わない方針を明確にしていま	
		密着型介護予防サービス指定基準にお	る。	す。職員は、会議や研修等で身体拘束	
		ける禁止の対象となる具体的な行為」を		についての学習をしています。転落事	
6	5	正しく理解しており、玄関の施錠を含め		故回避のためのベッド柵については、	
"	"	て身体拘束をしないケアに取り組んでい		職員間で話し合い、身体拘束にならな	
		る		いよう工夫をしています。日中、玄関や	
				門扉は施錠せず、自由に出入りできる	
				ようにしています。	
		〇虐待の防止の徹底	虐待とは何かを職員が理解できるよう		
		管理者や職員は、高齢者虐待防止関連	に、研修や会議などで学んでいる。		
		法について学ぶ機会を持ち、利用者の			
7		自宅や事業所内での虐待が見過ごされ			
		ることがないよう注意を払い、防止に努			
		めている			
		〇権利擁護に関する制度の理解と活用	すべての職員が理解していけるよう		
		管理者や職員は、日常生活自立支援事	に、会議などで話し合い仕組みを伝え		
		業や成年後見制度について学ぶ機会を	ている。		
8		持ち、個々の必要性を関係者と話し合			
		い、それらを活用できるよう支援してい			
					

自己	外 部	16 日	自己評価	外部	7 <mark>評価</mark>
C	市	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇契約に関する説明と納得	契約内容の変更や改定などの際に		
		契約の締結、解約また改定等の際は、	は、ご家族様にお話をさせていただ		
9		利用者や家族等の不安や疑問点を尋	き、意見をお伺いし、理解していただく		
		ね、十分な説明を行い理解・納得を図っ	ように努めている。		
		ている			
		〇運営に関する利用者、家族等意見の	ご家族が面会に来られた時などに、担	家族の意見や要望は、面会時に担当	
		反映	当スタッフが話を伺い、その情報を職	スタッフが聴取し、記録に残して、職員	
		利用者や家族等が意見、要望を管理者	員間で共有し、ご要望に添えるように	間で共有しながら支援に活かしていま	
		や職員ならびに外部者へ表せる機会を	努力している。	す。利用者については、職員が日頃の	
10	6	設け、それらを運営に反映させている		かかわりの中から思いや要望を聞き取	
				り、毎日のケアに活かしています。職	
				員は、毎月利用者の状況を書面にし、	
				家族に報告しています。	
		〇運営に関する職員意見の反映	不定期であるが職員との面談を順次	管理者は、日頃から職員の意見を聞	管理者は職員の知識や技術の向上を目
		代表者や管理者は、運営に関する職員	行い、意見交換をし、それらの意見を	き、その都度対応するよう心がけてい	指し、今後さらに内部研修を充実させ、
		の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ	皆で共有している。	ます。また、職員との個別面談を行	外部研修への参加を増やす予定にして
		せている		い、共通する課題については、職員会	います。今後、取り組みの成果が期待さ
				議等で話し合っています。職員会議で	れます。
11	7			出された意見や提案については、十分	
''	,			検討した上でホーム運営に反映してい	
				ます。職員の提案から「居酒屋もみの	
				木」を実施し、利用者にも好評です。	

大阪	存 もみ	の木のいえ		2015 年 1 月 7 日	
自	外部	項目	自己評価	外音	7評価
	EP	4 1	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇就業環境の整備	勤務体制については、職員の意見を		
		代表者は、管理者や職員個々の努力や	参考にしながら、必要なところに必要		
10		実績、勤務状況を把握し、給与水準、労	な人員を配置できるように、変更を行		
12		働時間、やりがいなど、各自が向上心を	っている。また給与水準については、		
		持って働けるよう職場環境・条件の整備	最低賃金の変更なども考慮し、改善し		
		に努めている	ていけるように検討している。		
		〇職員を育てる取り組み	社内研修や外部研修への参加をでき		
		代表者は、管理者や職員一人ひとりの	るだけ増やし、知識や技術の向上に努		
13		ケアの実際と力量を把握し、法人内外	めている。		
13		の研修を受ける機会の確保や、働きな			
		がらトレーニングしていくことを進めてい			
		る			
		〇同業者との交流を通じた向上	他事業所との相互研修を行い交流を		
		代表者は、管理者や職員が同業者と交	深めたり、地域の協議会への参加、他		
		流する機会を作り、ネットワークづくりや	事業所への見学など、より知識を深め		
14		勉強会、相互訪問等の活動を通じて、	ることができるよう取り組んでいる。		
		サービスの質を向上させていく取り組み			
		をしている			
Ⅱ. 罗	そ心と作	言頼に向けた関係づくりと支援			
		〇初期に築く本人との信頼関係	ご本人様のお話をゆっくりと伺い、不安		
		サービスを導入する段階で、本人が困っ	や要望などをお聞きして、安心してい		
15		ていること、不安なこと、要望等に耳を	ただける様に努めている。		
'		傾けながら、本人の安心を確保するため			
		の関係づくりに努めている			

	版付 もみの木のいえ 外		自己評価	ed to	2015 年 1 月 7 日 8評価
自己	外部	項目			
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇初期に築く家族等との信頼関係	ご家族様からお話を伺い、ご本人様の		
		サービスを導入する段階で、家族等が	普段の生活などから、ご本人やご家族		
		困っていること、不安なこと、要望等に	様の要望をお聞きし、それに応えられ		
16		耳を傾けながら、関係づくりに努めてい	るよう、密に連絡をとるように努めてい		
		る	る。		
		〇初期対応の見極めと支援	入居前にご本人様と面談させていただ		
		サービスを導入する段階で、本人と家族	き、体験入居をしていただきます。その		
17		等が「その時」まず必要としている支援	間にスタッフとの信頼関係を築く準備		
''		を見極め、他のサービス利用も含めた	を始めている。		
		対応に努めている			
		〇本人と共に過ごし支えあう関係	職員と利用者という垣根を越えて、家		
		職員は、本人を介護される一方の立場	族といるような関係を目指している。		
18		におかず、暮らしを共にする者同士の関			
		係を築いている			
				/	
		〇本人を共に支えあう家族との関係	利用者様の衣類や身の回りの物など		
		職員は、家族を支援される一方の立場			
		におかず、本人と家族の絆を大切にし			
19		ながら、共に本人を支えていく関係を築			
		いている	めている。		

自己	外部	の木のいえ	自己評価	外音	7 評価
ᄅ	部	項目	実践状況	 実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇馴染みの人や場との関係継続の支	ご家族やお知り合いの方など、いつで	利用者が馴染みの関係を続けられる	
		援	もお越し頂けるようにしている。	ように、来訪者があれば湯茶の接待を	
		本人がこれまで大切にしてきた馴染み		して、ゆっくり話ができるように配慮し	
		の人や場所との関係が途切れないよ		ています。利用者を慕って昔の教え子	
		う、支援に努めている		がたびたび来訪する状況も見られま	
				す。職員は利用者が馴染みの場所や	
20	8			墓参り等にも出かけられるよう、家族	
	"			の協力を得ながら支援しています。ま	
				た、友人、知人、遠隔地の家族との関	
				係が途切れないよう、手紙や葉書を出	
				したり、電話をかけたりする支援もして	
				います。	
		〇利用者同士の関係の支援	利用者様の居場所作りを心がけ、そこ		
		利用者同士の関係を把握し、一人ひと			
21		りが孤立せずに利用者同士が関わり合	ることができるように努めている。 		
		い、支え合えるような支援に努めている			
		○関係を断ち切らない取り組み	契約終了後も、ご本人様やご家族様よ		
		サービス利用(契約)が終了しても、これ			
		までの関係性を大切にしながら、必要に			
22		応じて本人・家族の経過をフォローし、	ている。		
		相談や支援に努めている			

自己		外部評価 部 項目		7評価	
	仰	現 日	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. そ	の人は	。 らしい暮らしを続けるためのケアマネジメ	ント		
		〇思いや意向の把握	利用者様に担当者を配置し、定期的に	利用者一人ひとりに担当職員を配置	
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意	アセスメントを実施している。また毎朝	し、日々の関わりの中で思いや意向を	
		向の把握に努めている。困難な場合	の申し送りで日々の思いや意向の把	さりげなく聞き取っています。言葉で確	
		は、本人本位に検討している	握を行うことで、本人本位の生活に近	認できない場合には表情やしぐさ、行	
			づくよう努めている。	動等で確認し、申し送り等で共有して	
				支援に活かしています。また、本人の	
23	9			思いを家族にも伝え、希望が叶えられ	
				るように支援しています。	
		〇これまでの暮らしの把握	ご本人様やご家族様から聞き取りを行		
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし			
04		方、生活環境、これまでのサービス利用			
24		の経過等の把握に努めている	方は安全等を確認した上で対応してい		
			る。これまでのサービス利用の事業所 様からも情報を得ている。		
			旅がらも情報を待ている。		
			日々の生活を通して、ご本人様の状態		
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状			
25		態、有する力等の現状の把握に努めて			
		いる	101127 000 71-7107 00		
		, - -			

自己	外部	の木のいえ 1 ロ	自己評価	外音	7 評価
٥	마	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇チームでつくる介護計画とモニタリン	定期的、また状態変化時に担当職員と	介護計画書は担当職員を中心に、利	
		グ	モニタリングを実施し、カンファレンス	用者、家族の意向を聞き取り、職員間	
		本人がより良く暮らすための課題とケア	においては事前に関係者(家族、医	でアセスメントを行い、サービス担当者	
		のあり方について、本人、家族、必要な	師、その他専門職)に連絡をとり、参加	会議で討議し、作成しています。必要	
		関係者と話し合い、それぞれの意見や	していただき、チームで介護計画を作	時には医師や看護師、理学療法士	
		アイデアを反映し、現状に即した介護計	成している。	等、専門職の参加を得て、家族を交え	
26	10	画を作成している		た話し合いをしています。介護計画書	
20				は職員間で共有し、実施記録を残して	
				3ヵ月毎にモニタリングを行い、6ヵ月	
				毎に見直しをしています。	
		〇個別の記録と実践への反映	日々の状況を個人別に記録し、全職		
27		きや工夫を個別記録に記入し、職員間			
			් ර ි		
		の見直しに活かしている			
		〇一人ひとりを支えるための事業所の	一ご本人様の状態とご家族様の希望も		
		多機能化	あり、看取りの対応をさせていただい		
		本人や家族の状況、その時々に生まれ			
28		るニーズに対応して、既存のサービスに			
		捉われない、柔軟な支援やサービスの	いる。行事等の時には職員を増やす		
		多機能化に取り組んでいる	体制づくりをしている。		

自己	外部	の木のいえ 	自己評価	外音	邓評価
C	市	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇地域資源との協働	市や社会福祉協議会等と連携し、権利		
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資	擁護制度を活用している利用者様もお		
29		源を把握し、本人は心身の力を発揮し	られる。近隣の整備された公園や日々		
23		ながら安全で豊かな暮らしを楽しむこと	の散歩コースも安全に外出できてい		
		ができるよう支援している	る。ボランティアによる踊りも楽しまれ		
			ている。		
		〇かかりつけ医の受診支援	往診医療機関(2週間に1度)と訪問看	利用者・家族の希望に添った医療機関	
		受診は、本人及び家族等の希望を大切	護ステーション(週2回)の変更により、	で、適切な医療が受けられるように支	
		にし、納得が得られたかかりつけ医と事	安定的に24時間医療連携体制が整	援しています。希望者には、2週間に1	
		業所の関係を築きながら、適切な医療	い、看取り対応させていただいている。	回、内科提携医師の往診を受けてい	
		を受けられるように支援している	今までかかりつけだった眼科には職員	ます。また、必要に応じて家族の了承	
30	11		が付き添い受診し、必要に応じて、ご	のもとで歯科、皮膚科、眼科等の受診	
	''		家族様と相談し歯科も利用している。	支援をしています。ホームでは提携医	
				師の協力により、24時間医療連携支	
				援を行っており、利用者の体調に変化	
				があれば、いつでも往診を受けること	
				ができます。	
		〇看護職との協働	訪問看護ステーションとの提携により、		
		介護職は、日常の関わりの中でとらえた			
		情報や気づきを、職場内の看護職や訪			
31		問看護師等に伝えて相談し、個々の利			
		用者が適切な受診や看護を受けられる			
		ように支援している	報や気づきを看護師に伝え、適切な看		
			護が受けられるよう様式を変更する。		

自己	外	の木のいえ 	自己評価	外音	7 評価
٥	船	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇入退院時の医療機関との協働	ご家族様と共に、入院先の病院関係		
		利用者が入院した際、安心して治療で	者と情報交換を行い、退院後の受け入		
		きるように、又、できるだけ早期に退院	れ態勢などを伝えたり、相談に努めて		
32		できるように、病院関係者との情報交換	いる。入居予定の方の退院後の入居		
		や相談に努めている。あるいは、そうし	についても、病院関係者と情報交換や		
		た場合に備えて病院関係者との関係づ	相談をしながら、安心して入居していた		
		くりを行っている	だけるように努めた。		
		〇重度化や終末期に向けた方針の共	看取り体制を整え、ご家族様や石、看	入居契約時には、「利用者家族の希望	
		有と支援	護師、理学療法士(月2回訪問)と早い	に副って可能な限り支援を行う」と終末	
		重度化した場合や終末期のあり方につ	段階から話し合い、重度化や終末期に	期支援の方針を説明しています。重度	
		いて、早い段階から本人・家族等と話し	向け事業所でできる対応や整備につ	化した場合には、利用者家族の意向を	
		合い行い、事業所でできることを十分に	いて説明したり、チーム支援に取り組	再度確認し、医師、看護師、理学療法	
		説明しながら方針を共有し、地域の関	んでいる。	士等の専門職を交えて、家族と相談し	
33	12	係者と共にチームで支援に取り組んで		ながら支援方針を決めています。「最	
		いる		期までホームで過ごしたい」という利用	
				者・家族の願いを尊重し、看取り支援	
				を行った経験があります。	
		〇急変や事故発生時の備え	急変時対応マニュアルを設置してい		
		利用者の急変や事故発生時に備えて、	る。利用者様の体調の急変時や事故		
34		全ての職員は応急手当や初期対応の	発生時には医師の指示に従って行動		
34		訓練を定期的に行い、実践力を身に付	するようにしている。		
		けている			

自己	外 部	項目	自己評価	外部	7 評価
۵	파	項 目 	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇災害対策	災害対策マニュアルを設置している。	災害対策マニュアルに沿って、年2回	災害時の備蓄については、利用者が2
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜	また定期的に消防避難訓練を実施し	の消防避難訓練を実施しています。そ	~3日程度飲食できる数量を確保するこ
		を問わず利用者が避難できる方法を全	ている。	のうち1回は消防署の立会いを受け、	とが望まれます。
		職員が身につけるとともに、地域との協		利用者も参加し、避難訓練を行ってい	
		力体制を築いている		ます。もう1回は、自主訓練として取り	
				組んでいます。ホームの立地が海抜3	
35	13			メートルという状況から、津波の影響を	
00	10			考え、近くの高層ビルに避難することも	
				検討しています。管理者と職員は、地	
				域の防災訓練にも参加しています。災	
				害時の備蓄をしていますが、利用者数	
				に見合った数量には達していない状況	
				です。	
₩. ₹	の人を	らしい暮らしを続けるための日々の支援			
		│○一人ひとりの尊重とプライバシーの確 │_		職員は、利用者一人ひとりのペースを	
		保	たいのかを考え関わるようにし、お互		
		一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプラ	いが尊重し合えるように関わっている。 	の都合を優先せず、利用者一人ひとり	
		イバシーを損ねない言葉かけや対応を 		の気持ちに添って支援しています。職	
		している		員の言葉かけや対応は適切で、利用	
36	14			者の思いを尊重した対応をしていま	
				す。アルコール等の嗜好品について	
				も、利用者と話し合い、時間や数量を	
				決めて提供しています。	

自己	所 もみ 外 部		自己評価	外音	2015 年 1 月 7 日 野 評価
己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇利用者の希望の表出や自己決定の	自分の思いを言える利用者様にはそ		
		支援	の声を聞き、自分で伝えることができ		
		日常生活の中で本人が思いや希望を表	ない利用者様には、表情や行動を見		
37		したり、自己決定できるように働きかけ	て希望に添えるようにしている。		
		ている			
		Oロ をのえの Lとしい 草とし	되田老性 九니() ^ 고조 ロナ		
		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するので	利用者様一人ひとりのペースで一日を		/
		はなく、一人ひとりのペースを大切にし、			/
		その日をどのように過ごしたいか、希望			
		にそって支援している	1月主が必ずいはその部及がからそので。		
38					
				/	
		〇身だしなみやおしゃれの支援	外出する時には、ご本人様に服などを		
		その人らしい身だしなみやおしゃれがで			
		きるように支援している	いる。		
39					

自己	外部	15 日	自己評価	外部	『評価
	印	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者 と職員が一緒に準備や食事、片付けを している	調理や食事の準備、また後片付けな どは、できる利用者様と一緒にさせて いただいたり、苦手な食事の時は、何	食事は、利用者にとって最大の楽しみ のひとつと受け止め、職員が利用者と 一緒に毎日作っています。昼食時、利	
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をして いる	る利用者様については、医師、看護師		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食後など歯磨きを促し、義歯の洗浄、口腔ケアの介助が必要な方には職員が対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外音	7評価
	命	坝 日	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	がわかりにくい利用者様には、時間ご	職員は、排泄自立を目的に、紙オムツに頼らないケアを実践しています。排 泄記録から、それぞれの排泄パターン を把握し、声かけによってトイレで排泄 できるよう支援しています。便秘傾向 の利用者には、散歩や、ホットミルク・ バナナ等を勧め、自然に排便ができる よう支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴を希望された時に入っていただけるように支援している。	浴室は、広くて明るく、ゆっくり入れる造りになっています。できるだけ入りたい時に入浴できるように配慮し、支援しています。利用者の多くは、週3回以上入浴している状況です。一部入浴を好まない利用者に、職員が替わって声かけをすることで、今では楽しんで入浴している状況です。季節の湯として、ゆず湯やしょうぶ湯等を提供しており、利用者の楽しみ事の一つになっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外音	7 評価
	마	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇安眠や休息の支援	日中夜間にかかわらず、ご本人様が		
		一人ひとりの生活習慣やその時々の状	休息されたい時には、自由にお部屋で		
46		況に応じて、休息したり、安心して気持	休んでいただいている。介助が必要な		
46		ちよく眠れるよう支援している	方に対しても、表情を確認してお部屋		
			で休んでいただけるように支援してい		
			る。		
		〇服薬支援	薬のファイルを作成し、利用者様が服		
		一人ひとりが使用している薬の目的や	用している薬を把握し、確認できるよう		
47		副作用、用法や用量について理解して	にしている。また、体調の変化などが		
		おり、服薬の支援と症状の変化の確認	あればすぐに医師に相談している。		
		に努めている			
		〇役割、楽しみごとの支援	その日の体調や状態をふまえ、家事		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせる	や散歩、買い物、外食など、楽しく過ご		
48		ように、一人ひとりの生活歴や力を活か	していただけるよう、支援している。		
		した役割、嗜好品、楽しみごと、気分転			
		換等の支援をしている			
		〇日常的な外出支援	外出を希望された場合は、可能な限り	毎日の散歩コースには、神社やスーパ	
		一人ひとりのその日の希望にそって、戸	支援させていただいている。近所の神	ーマーケットがあります。買物は、職員	
		外に出かけられるよう支援に努めてい	社、スーパーへの買い物、外食や季節	と希望者が一緒に行きます。時には、	
		る。又、普段は行けないような場所で	の行事など、できるだけ外出していた	回転寿司や近くのスーパー内にあるフ	
49	18	も、本人の希望を把握し、家族や地域の	だけるように努めている。	ードコートでの食事を楽しみに出かけ	
	10	人々と協力しながら出かけられるように		ています。利用者同士が「散歩に行こ	
		支援している		う」と声をかけ合い、職員と共に出かけ	
				ることもあります。年間行事では、海辺	
				の公園や浜辺、保育園の夕涼み会、	
				紅葉見物等に出かけています。	

自己	外部	の未のいえ 	自己評価	外音	7 評価
己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇お金の所持や使うことの支援	ご希望に応じて、こちらで管理させてい		
		職員は、本人がお金を持つことの大切さ	ただいているお金をお渡ししている。そ		
50		を理解しており、一人ひとりの希望やカ	のお金で買い物に行っていただくよう		
		に応じて、お金を所持したり使えるよう	支援している。		
		に支援している			
		〇電話や手紙の支援	ご希望があれば対応できる準備をして		
51		家族や大切な人に本院自らが電話をし	いる。		
		たり、手紙のやり取りができるように支			
		援している			
		〇居心地のよい共有空間づくり	トイレや浴室などは清潔にするように	門を入ると広い敷地があり、プランター	
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、	心がけている。できるだけ生活感のあ	等で野菜を作っています。犬小屋には	
		食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとっ	る空間であるように配慮している。	高齢の愛犬が寝そべり、顔を上げて迎	
		て不快や混乱をまねくような刺激(音、		えてくれます。玄関には水槽があり、	
		光、色、広さ、温度など)がないように配		金魚が泳いでいます。リビング兼食堂	
52	19	慮し、生活感を採り入れて、居心地よく		や居室に向かう廊下は明るく、ソファー	
		過ごせるような工夫をしている		やテーブルの配置には家庭的な雰囲	
				気が感じられます。外気が寒い日でも	
				ホーム内は温かく、居心地の良い空間	
				となっています。	
		○井田帝間にわばて、「れたける早年	ナンもフセナンナート・ジューンローディー・フェンチェンスト		
		〇共用空間における一人ひとりの居場			
53		所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の	る空間を作らせていただき、ご自身が		
33		共用空间の中で、独切になれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせ			
		合うに利用者向士で思い思いに適こせ	い/こ/こい くいる。		
		るみては石物川の上大でしている			

自己	外部		自己評価 外部評価		P評価
	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		〇居心地よく過ごせる居室の配慮	利用者様の居室には、ご自身が使わ	居室扉には、職員が描いた利用者の	
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や	れてきた物を自宅から持ってきていた	似顔絵を貼り、自室を分かりやすくして	
		家族と相談しながら、使い慣れたものや	だき、今までと変わらない環境に近い	います。居室のロッカーとベッドは備え	
_{E4}	20	好みのものを活かして、本人が居心地	状態を作らせていただくようにしてい	付になっており、利用者は使い慣れた	
54	20	よく過ごせるような工夫をしている	る。	家具やテレビ、時計、写真、仏壇等を	
				持参し、居室でも過ごしやすいようエ	
				夫しています。室内は清潔で空調も良	
				く、落ち着いた雰囲気になっています。	
		〇一人ひとりの力を活かした安全な環	居室の扉に利用者様の名前を表示さ		
		境づくり	せていただいたり、手すりなどを設置		
55		建物内部は一人ひとりの「できること」	し、可能な限り安全に過ごしていただ		
		「わかること」を活かして、安全かつでき	けるようにしている。		
		るだけ自立した生活が送れるようにエ			
		夫している			